

# 研究から

大学はいま

した精神疾患は増えて のが今の日本の現状で  
います。これらの疾患 す。  
は、対人関係の中での 精神看護の役割は、  
まく適応できなくなつ 精神障害の有無に問わ  
た時に表面化するた らず、人が自己実現を

## 精神看護の質向上を目指す

め、身近な疾患である  
と言えます。不幸にも  
精神疾患を患つてしま  
つた人は、その病の苦  
しみに加えて、社会の

現代の日本はストレ  
ス社会と言われ、うつ  
病や摂食障害、依存症  
など、ストレスが関連



でどのように援助する  
ことです。

私は今、精神科で働く  
看護師たちと研究を  
通して、精神疾患にか  
かってしまった人をど  
うします。私のできるこ  
とは、日々試行錯誤して  
のよう理解するかと  
過程に協働し、少しでも  
も疾患を抱えて暮らす  
人々に質のよい支援を  
行えるよう、実践に基  
づく研究を追求すると  
同時に、今後の担い手  
である学生に、精神看  
護の魅力を伝え続けて  
いきたいと思っています。

いうことを追求してい  
ます。心の健康は数値  
で測定できるものでは  
ないですし、目に見え  
るものでもない。だが  
偏見や無理解という苦  
目指してその人らしく  
らしさ、高い専門性が  
求められるのです。